電子証明書の確認方法

PDFファイルをAdobe Acrobat 製品で開き、署名が有効であることを確認してください。

B	☆	ጭ	C.	8	ପ୍	Ć					k		Θ	Ð	98.9%		L Lat	•••	Ĉ a	\boxtimes	6
<u>k</u> ö	署名》	斉みで あ	がす	べての	書名が	有効	です。	Τ											(#	名パネル	\mathbf{O}
																					î
ß			1	令利	口5年	⊧1月	13	日子	金曜日		官		報		第	895	5号			_	18
Ø			を 生 労 角 登 労 働 大	監 行 規 置 規 則 重 気 男 第 二 第 二 第 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	○医薬品(分	の附属を	O 千九 百 七 の 役 棄 に	 〇日本国に 	律等 一 親 一 親 一 世 の 規 世	〇国会議事 (総務一)	O 特定 国外	〇国家戦略	任	○相続等に (法務一)	盗				5	第 三 種 郵 便 一種 郵 便	I.
Ón.		1	, る件 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	お古の福田の	主医療ナ	。 及び り び 月	日本二年	に帰化を件	により	+ 堂 等 周	(内閣府	特別区	示) 	슦	E	1		B	2 月 一 初三 十 一 一 日	I.
	•		軍事労働五)	の二の規定に基づき	品等の品質、有効性	属書二の改正に関す	「九十六年り義官皆り」「洋汚染の防止に関す」の廃棄物その他の物	許可する件(法務六):(同二)	、政党事務所周辺地	辺地域及び外国公館	織を指定する件	域計画の変更を認定		関する法律施行規則	Ľ	カ	3	編集		日刊(行政機関の休日休刊)	4
		-				*		Ŧ			29	-				-	-	-		Ŭ	

▲ 署名済みであり、すべての署名が有効です。

が表示されない場合、

「令和7年3月14日以前」に発行された PDF ファイルの署名を確認する場合 →下記の "2"を実施してください。

「令和7年3月15日以降」に発行された PDF ファイルの署名を確認する場合 →下記の"1"及び"2"を実施してください。

1 ルートCA証明書のダウンロード

Adobe Acrobat で検証ができない場合は、Windows に信頼済みの証明書を登録して ください。

① インターネットに接続している Windows で下記のダウンロードリンクより、ルート CA 証明書をダウンロードしファイルを開いてください。

https://repo1.secomtrust.net/root/rsa/rsarootca2023.cer

以上で終了です。

※ルート CA 証明書は、Microsoft に「信頼されたルート証明機関」として登録されてい ますが、Adobe Acrobat で PDF ファイルを開くだけでは、Windows にインポートさ れない仕様となっています。

ー度、ルート CA 証明書を Windows で開くことにより、自動的にインポートされます。

電子署名の検証結果が正常に表示されない場合は、以下のとおり Adobe Acrobat の環境 設定を確認し、ファイルを開きなおしてください。

① Adobe Acrobat の編集タブから環境設定を選択します。



② 環境設定内の署名の項目を選択し、検証の詳細ボタンを押します。

環境設定		X
分類(<u>G</u>): フルスクリーンモード ページ表示 一般 注釈 文書	デジタル署名 作成と表示方法 ・署名作成のオプションを制御 ・文書内での署名の表示方法を設定	詳細
JavaScript アクセシビリティ アドビオンラインサービス インターネット スペレチェック セキュリティ セキュリティ セキュリティ	検証 ・署名の検証に使用する時刻と方法を制御 IDと信頼済み証明書	詳細
トラッカー フォーム マルチメディア(従来形式) マルチメディアの信頼性(従来形式) ものさし(20) ものさし(30)	 - 署名に使用する ID を作成および管理 ・ 文書を信頼するために使用されたクレデンシャルを管理 文書のタイムスタンプ ・ タイムスタンプサーバーを設定 	詳細
6020 (地図)(東政) ユーザー情報 レビュー 検索 <u>言語</u> 署名 信頼性管理マネージャー		
単位 電子メールアカウント 読み上げ		ок <i>キャンセル</i>

③ 以下のチェック項目を選択しOKボタン押します。

署名検証の環境設定	×								
✓ 文書を開くときに署名を検証(Ŋ) ✓ 有効であるが信頼していない署名が文書にある場合、署名者を確認して信頼性を設定									
検証動作 検証方法: ○文書で指定された方法を使用。使用できない場合は確認メッセージを表示(U) ○文書で指定された方法を使用。使用できない場合はデフォルトの方法を使用(D)									
 ● 常にデフォルトの方法を使用(W): Adobe デフォルトセキュリティ ∨ □ 署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求(R) □ 期限切れのタイムスタンプを使用(E) □ 文書の検証信報を知道の 									
検証時刻 署名の検証に使用する時刻: 〇署名が作成された時刻(1) 〇署名に埋め込まれている保証された 時刻(471,742,7)(5) ④現在の時刻(C)	検証情報 署名済み PDF を保存時に自動的に検証情報 を追加: ○ 検証情報が大きすぎる場合に確認 ◎ 常に ○ 行わない								
Windows 統合 以下の操作について Windows 証明書ストアのすべ 図 署名を検証(S) 山 証明済み又書を検証(D)	べてのルート証明書を信頼:								
これらのオプションのいずれかを選択すると、任意 が信頼済みのコンテンツとみなされます。これらの にする場合は、十分な注意が必要です。 ヘルプ	気のマテリアル D機能を有効 OK キャンセル								

④ 環境設定内の信頼性管理マネージャーの項目を選択し、OK ボタンを押した後、
 Adobe Acrobat のアプリケーションを再度開いてください。

環境設定		×
分類(G): フルスクリーンモード ページ表示 一般 注釈 文書	信頼性管理マネージャー PDF 添付ファイル ☑外部アフリケーションで PDF 以外の添付ファイルを開くことを許可(A) 添付を許可するファイル形式のデフォルト一覧をリセットする: リセット(R)	
JavaScript アクセシビリティ アドビオンラインサービス インターネット スペルチェック	Web サイトアクセスの管理 ユーザーが許可しない限り、PDF ファイルは情報をインターネットに送信できません。 設定の変更(E)	
セキュリティ セキュリティ(拡張) トラッカー フォーム マルチメディア(従来形式) マルチメディアと 3D	Adobe Approved India List (AAIL)の自動更新 ✓ Adobe AATL サーバーから信頼済み証明書を読み込む(L) 日 更新する前に確認(A)	
マルチメディアの/信頼性 (従来形式) ものさし (2D) ものさし (3D) ものさし (地図情報) ユーザー情報 レビュー	European Union Trusted Lists (EUTL)の目動更新 Adobe EUTL サーバーから信頼済み証明書を読み込む(L) 更新する前に確認(K) 今すぐ更新(U)	
検索 言語 名名 信頼性管理マネージャー 世位	ヘ.Jレプ(P)	
	ОК ‡7>	セル

以上で終了です。

タイムスタンプを検証することで、電子署名も併せて確認することができます。

タイムスタンプを自動で検証したい場合は、下記サイトからタイムスタンプ検証ツール をダウンロードして利用することも可能です。

https://www.e-timing.ne.jp/product/timestamp/download/evidence-verifier/